



豪雨被害全国に拡大!

九州豪雨

筑後川など9河川氾濫 死者56人、福岡でも

西日本梅雨前線の影響で、九州南部を中心に記録的な大雨が降り続いた。大分県日田市で氾濫する筑後川が、福岡県本海浜地区でも氾濫し、死者56人、行方不明12人、避難者約1,000人、家屋全壊約1,000棟、半壊約1,000棟、倒壊約1,000棟、浸水約1,000棟、土砂災害約1,000箇所、交通機関の混乱などが発生している。九州各地で大雨による被害が拡大している。

温暖化で降水量増加

家に濁流 橋も流失

7月6日 藤原市下久保 赤松川で土砂災害発生。注視中。



九州豪雨 藤原市は九州各地に広がった。白糸の滝の支流赤松川を記述する熊本県で特大豪雨をもたらした梅雨前線は、白糸の滝付近まで九州北部でもしつこく降り、大分・福岡県を流れる赤松川を氾濫させた。福岡県日田市で福岡県を流れる赤松川が氾濫した。一方、福岡県田川の支流赤松川は、福岡県田川の支流赤松川が氾濫した。福岡県田川の支流赤松川が氾濫した。

「まさかここまで水が」

雨の七夕 願い届かず



大雨で激し、「ボートで救出される住民」 7月6日午後9時、福岡県大牟田市(寺口)で撮影。

特養 泥で荒れ果てた室内



14人が福祉になった特別養護老人ホーム「千寿園」。水の引いた施設内には、泥だらけの畳いすなどが散乱していた。

豪雨被害九州全域に 死者56人 筑後川氾濫



豪雨に巻き込まれ、救出された住民の様子。7月7日午前11時30分、福岡県田川市。

梅雨前線の影響で、九州南部を中心に記録的な大雨による河川の氾濫や土砂災害が相次いで発生し、甚大な被害や突風による被害が相次いでいます。現在も道路の寸断などで連絡が取れず、孤立した世帯や被害が把握できない地域・地区があります。

JR総連が実態調査中!
相互扶助の精神で仲間を助けよう!
被災されたご家族などがいる組合員は
東京地本までご連絡ください!